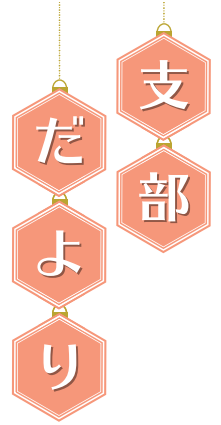


各支部での一年間の総会・活動などの様子をお届けいたします。



関東支部

島田 直仁 (農短22農学)

総会・懇親会は二〇二五年九月六日(土)、アルカディア市ヶ谷にて行いました。出席者は、恩師と講師の先生方を含めて計四十四名でした。

今年の取り組みとして、先生方は各テーブルにお一人ずつ座っていただきました。先生と同窓生で話が弾み、双方から好評でした。同じ学校の出身者という意味では、先生も同じ同窓生です。先生に会うのが同窓会の大きな目的の一つになりますので、OBの先生方はもちろん、現役の先生方にも同窓会に来てもらいたいと思っています。

講演は、日本一美味しい米作りの名匠である遠藤五一先生に「生きることは食べること」の題でお話いただきました。「食は医の前にある。自然と共に生し、安全安心で、人の身体に良いお米を作ることを求めてきた。何よりも美味しくなければ受け入れられない。有機とミネラルを大事にする栽培をしている」とのこと。そして、今話題の「コメの価格については、「五〇五〇千円



遠藤五一先生のご講演

式次第と記念品「お米」(つや姫)

でも茶碗一杯にすると五十円」という話をされました。今、水のペットボトルの値段は百円を超えます。参加者の心には、「お米の値段は高くない」という気持ちが生ええました。また、参加者には遠藤先生のお米二合を記念品としてお渡ししました。

次は、鈴木理事長から「学生が自主的に学んでゆく校風を作り、問題解決ができる学生を育てていく」とのお話がありました。

その後懇親会に入り、食事をしな

がら、森永学長、中村前学長、伊東先生のお言葉をいただきました。続いて同窓生紹介で保大卒の東克哉さん(一昨年衆議院議員に初当選)の自己紹介、関東支部恒例、同好サークル「コミュニティカーレふるふる」のマンドリン演奏を聴き、その三曲目「ふるさと」を手話での合唱に全員で挑戦しました。また同好サークル「手作りの会」の方々の作品を会場入り口に設置し、多くのご購入される方がおられました。遠藤先生にも質問やお話される方がいっぱいでした。



全員で手話合唱

アを出し合いながら前向きに進みたいと思っ



「手作りの会」の作品展示

岡山支部

藤井 茂保 (農短22農学)

岡山支部では、昨年十一月十六日(日)、奈義町「お食事処さわ」にて支部総会を開催し、新支部長に河本直貴さん(県大・経営12)、副支部長に猪熊晴彦さん(農短・畜産16)が選任されました。

今回、「なご昔話語りの会」代表で民話の継承活動をされている入澤知子



さん(女大・社福7)に講演をお願いしたところ、奈義の自然にも触れていただけたらと誘われ、初めての県北開催でしたが、講演に興味を持っていた方、会場が奈義だったからという方など、県南は児島、西部は高梁・新見と遠くからも足を運んでいただき、出席者数は二十三名(女大五、農短十六、県大二)と、平成十九年以降で最も多く、また初めての方が六名と嬉しい結果となりました。

入澤さんは四十歳のとき家族で奈義へUターンしたことをきっかけに、地域の温かさや歴史、文化に触れ、数多くの民話が受け継がれていることを知り、平成十九年に「語り部養成講座」を受講。次世代に民話を伝えたいとの思いから、有志で「なぎ昔話語りの会」を設立し、子どもたちには、語り部の表情や仕草を通して文字だけでは伝わらない世界を感じてほしいと願い活動されています。

語りの活動は、年四回の定期公演をはじめ、幼稚園・小学校、高齢者施設、子ども会、婦人会など幅広く、聞き手に楽しんでいただけることが励みになっています。

また会では平成二十六年に『なぎの民話(立石憲利氏との共著)』を出版し、奈義を代表する民話「さんぶたろう」の資料集作りにも携わり、『今も生きている巨人伝説さんぶたろう』『第2集』などを刊行。この物語は町の観光リーフレットにも使われています。

当日は「さんぶたろう」や天狗の話

など、奈義に伝わる民話を披露していただき、その語り口調にいつのまにか民話の世界に引き込まれていました。懇親会では奈義和牛のヒレステーキを味わいながら、近況報告や学生時代の思い出に話が弾みました。会食後、記念写真を奈義町現代美術館前で撮り散会。その後も美術館や菩提寺の大イチョウを見に行かれる方もあり、自校だけでなく他校の同窓生との交流も深められ、充実した一日となりました。

福山支部

前中 弾(県大2生管)

二〇二五年度の福山支部の状況と活動を報告いたします。

支部総会・懇親会の開催に向けて、新しい副会長一名と準備スタッフ三名の方々と一緒に一致協力して準備を行いました。おかげ様をもちまして十一月九日に開催することができました。

当日は八名のご出席があり、総勢十七名での開催となりました。近隣で活躍中の三味線・琵琶奏者の方をお呼びして、「三味線 弾き歌」という演目をご披露いただき、会場一同で堪能いたしました。懇親会では、ご近況やご経験についてお一人ずつお話をさせていただきました。生きる快活さ、人生の深さ、人生の原点を共有することができました。今回の参加人数ならではのゆったりとした時間を持つことができたのではないかと思います。

福山支部では、支部の存続について



会員の皆様からハガキでご意見を頂戴し、役員会で協議を重ねてまいりました。最終的な決断につきましては改めてお知らせいたします。

尾道支部

幸山 美登利(女大5食)

尾道支部総会を終えて

尾道支部は、令和七年六月二十二日(日)に支部総会を開催しました。

場所は、尾道市内のバリアフリーである条件で選定し、尾道市西御所の「レストラン尾道レスポワール・ドゥ・カフェ」にしました。参加者は、十名(女短二名、女大八名)でした。体調不良などでキャンセルがあり少人数で



の開催になりました。支部総会の議題はすべて承認されました。事業報告の中で、支部長会での各支部の悩み、取組みの様子を報告しました。また総会での河田顧問の講演の内容をお伝えし、これからの尾道支部の同窓会のあり方を話し合いました。

いかにして若い世代に参加してもらうかは、まずは知り合いからお誘いの声かけを続けましょうということになりました。そして、参加してみたいと興味がありました。例えば「フレイル予防」などのお話を母校の先生にお願いしてはどうかという声が出ました。今回は総会と食事のみの内容でしたが、次からはイベントも含めた内容の企画を検討したいと思います。

最後の近況報告は、趣味や国内外旅行、健康維持など様々な話題で盛り上がりしました。

三原支部

川口 真理子（女大6児）

総会を終えて

二年に一度の三原支部の総会ですが、これまでの場所の反省から、食事の安い所を選んで、初めてレストラン総会を開こうと計画しました。しかし、レストランでは総会は難しいといわれ、総会場所を別の場所で行うことになりました。たまたまレストランと隣接した公共機関を使うことで、時間を無駄にすることなく講演会もスムーズに開催することができました。

総会で同窓会会長の北村富美子様との挨拶で力強いお力添えをいただきました。講演会では、県立広島大学保健福祉学科の田中睦英准教授に認知症にならない生活習慣の提案「自分らしく生きること」をテーマに講演していただきました。

堅苦しいお話ではなく、身近なフレイルからどのよう脱却したらよいか、私



県立広島大学准教授 田中先生の講演を聞いて...



総会参加者集合写真

たちに自信の持てるような内容でした。総会も時間内に終わり、レストランへの移動もスムーズで、楽しく食事、歓談することができました。

後の近況報告では、まるで認知症とは無縁な方々のお話かと思われる間違などご意見でした。先生からもお褒めの言葉をいただきました。

全体として時間内に済ませることができ、役員としてはほっとするところですが、初めての試みで、試行錯誤しながら、一つの行事を難しさも感じながら、役員一人一人が責任を果たすことができ、よかったですと思います。何より総会に参加してくださった方々に感謝感謝です。

来年は、総会がないので、親睦会を開いて会をつなげていきたいと思ひます。

三次支部

徳永 泰臣（農短11畜産）

三次支部として、これまで様々な活動が続けてきました。

特に令和七年度は二年に一度の三次支部総会の年になっていきますが、私の都合もあり、未だに開催が出来ておりませんが、年度内の開催に向け頑張っているところです。

令和七年は、物価高、特に昨年から続いている米価格の高騰により、学食の運営が非常に厳しいと聞き、同窓生の協力で農家から学食への直販により米価格を抑え、価格の値上げも抑える事ができました。

また、同窓会からの学食支援が大きな役割を果たしていただきます。例えば、同窓会応援定食として、数に限りがあるものの、三百五十円という低価格で、地元西城川産の天然あゆの塩焼きなど、特徴ある食事の提供をしていただいています。

その他の取り組みとして、令



和七年も十月二十五日、二十六日に開催された庄原キャンパスの白楊祭へ同窓会三次支部として、焼き芋と大学芋で参加をしました。

大学祭の盛り上げ、同窓会会員相互の親睦、交流が図れるよう今後も取り組んでいきます。

東広島支部

大月 靖規（農短20農学）

東広島支部の総会は隔年で開催していただきますので、令和七年度は無く、主な活動はしておりません。令和八年度の第十回総会に向けて、準備をしているところです。

同窓生の皆さんが参加しやすい内容にしたいと考えていますが、役員の方々と話し合いながら、一人でも多く参加していただき、楽しい会が出来ればと思っております。また、同窓生の皆さんからのご意見等もお聞かせいただければ幸いです。

一応、令和八年十一月の開催を目指しておりますので、皆さんの参加をよろしくお願いいたします。

呉支部

山上 文恵（女大6生）

二〇二五年九月七日（日）十一時よりクレイトン・ベイホテルで同窓会呉支部総会・懇親会を、二十七名の参加者で開催致しました。

総会では、決算・同窓会費を値上げ

して開催する予算案の承認をしていただきました。

今回の会を盛り上げてくださったのは、女短十四期児童学専攻卒の横田早苗さん所属のオカリナグループ「美笛」の六重奏の演奏でした。

十六年前にもオカリナ演奏をしていただいていたのですが、メンバー替えをされての素晴らしい心に響く音を出されていきました。旅愁、どんぐりころころ、少年時代、黒猫のタンゴ、いい日旅立ち、ラ・タンパルシータ、ヘッドライト、高原列車は行く、もちろん最後の曲はコンドルは飛んでいくでした。アンコール曲は高校三年生で合唱して盛り上がりました。

懇親会では、恒例の美味しい食事を堪能し、同窓の皆さん同士、おしゃべりで盛り上がりました。農短の初参加の方を交えて様々な会話か



飛び交いました。そして、大学三期生活の岡田陽子総務からいつもの転倒予防体操をはじめ、締めは「長生き音頭」を楽しく踊って体を動かしました。あつという間の三時間の同窓会を、大学三期生活の松岡啓子新副支部長の来年の参加を呼び掛けるあいさつで終わりました。

同窓会会報への広告掲載の呼びかけも行い、六件の応募・協賛をいただきました。

山口支部

末釜 久之（農短10農業）

「お待たせしました」のキャッチコピーで、山口支部会員に案内を出したのが昨年七月末、それまでコロナ禍に

より各種会合の抑制、また小生（支部長）の入退院（約二年）が重なって、支部会員の皆さまには、本当に待ってもらって六年が経過しましたが、やっと総会が開催出来ました。

この際だからゆったりと過ごしていただく様にと、九月十五日、十六日の一泊二日で計画を立てお誘いをいたしました。九月と言う事で、各種行事の多さ、また夏の猛暑も手伝ってか、参加者は九名でしたが、同窓会員同士と言う雰囲気極めて強く、殆んどが初めての出会いながら全く気兼ねなく、あたかもクラス会の如き、なごやかな時間を過ごしました。同窓会北村富美子会長もご出席くださり、懇親会のアトラクションも、プロ歌手の演歌ショーや地元出身のよさこい踊りが花を添え、賑やかに幕を閉じる事が出来ました。



た。そして参加者の皆さんは「また案内下さいね、どんな事があっても来るけん」と満足して再会を約して解散しました。

愛媛支部

石田 和子（女大22食）

令和七年度、愛媛支部は、大きく二つのことに取り組みました。

①愛媛支部総会・懇親会の開催

＊第十回 県立広島大学同窓会

愛媛支部総会（隔年開催）＊

日時 令和七年七月六日（日）

十二時～約二時間

場所 日本料理「山崎」（松前町）

内容 本部総会・会計報告、

役員再選等

出席者 愛媛支部会員（女大八名）

県立広島大学同窓会

北村会長

令和七年度は、北村同窓会会長をお迎えしてのスペシャルな支部総会・懇親会となりました。北村会長が直々に語ってくださった本部総会や、同窓会の現状、これまでやこれからのことに関する内容は、リアルな体験談に様々なエピソードが加わり、知的好奇心を刺激される楽しい時間となりました。また今回は、会長と初参加してくださった方がおられたことで、我々古参メンバーは「熱烈歓迎・感謝感激・ありがた山」でございました。続く懇親会も、涼やかな庭園の眺めを楽しみながらのご馳走とレジェンド・ガールズトーク



を心ゆくまで味わい尽くしました。
 ②愛媛支部会員管理システム化に挑戦
 今回の支部総会が十回目の節目開催
 ということで、連絡対象を全会員に拡
 大し、参加申込にQRコードを使った
 デジタルツールを導入してみました。
 ところが、思いのほか返信率が低く、再
 度文面を練り直し、再配布し、現在返
 答待ちという状況です。
 最後に、今回の取組を通して、広島
 女子短期大学や広島農業短期大学の
 先輩方からお葉書やお手紙を何度か
 いただきましたが、それはまるでタイム
 カプセルを開けたときのような、時間
 を超えて心が通い合った心地でした。
 もしかしたら次回お会いできるかもし
 れないという、そんな楽しみな未来へ
 の伏線ができた今年度の愛媛支部でし
 た。



十一月八日午前十一時三十分より、
 第十回県立広島大学同窓会北部九州支
 部総会及び懇親会を開催いたしました。
 (博多料亭 稚加栄にて) 当日は十名
 の参加予定でありましたが急用、急病
 により三名の欠席者があり七名での開
 催になりました。
 総会の主な議題としては、同窓会支
 部長会の報告、今期会計報告、役員改
 正について会を進行いたしました。今
 期会計報告につきましては出席者全員
 賛同、役員改正については現役員四名
 の退任により新規支部長 大成 昭
 (農短畜産11期)、副支部長(会計兼務)、
 中島 秀虎(農短畜産13期) 書記及び

北部九州支部

大成 昭 (農短11畜産)

会計監査人については後日選考という
 ことで、参加者全員の賛同を得ました。
 その後自己紹介、近況報告等を交え
 ながら博多料亭稚加栄の料理を満喫
 し、楽しい時間を過ごしました。
 最後にかかりの人数に参加依頼葉書
 を送りましたが七人の参加にとどま
 り、今後の同窓会活動について色々
 と意見を交わしました。

大分支部

熊本 昭憲 (農短19農学)

二〇二五年度は総会を開催しました。
 日時 二〇二五年七月六日(日)
 場所 大分市センチュリーホテル
 出席者 女短 二 農短 五
 女大 三 計 十名

総会では懸案事項でありました「大
 分支部規約」の制定の他に年会費二年
 間で千円に減額、役員改選では支部長
 熊本昭憲 副支部長 吉原美和(女
 子大社福22) 事務局長 古野典子(女
 子大食19)の三名が再任されました。
 今後ともよろしく願っています。
 懇親会ではお互いの近況報告、同窓
 会総会、支部長会議、広島農業短期大
 学開学七十周年広島県立大学開学三
 十五周年記念事業参加報告がありま
 した。また余興としてギター演奏があり
 懇親を深めました。
 大分支部では毎年七月第一日曜日に
 総会と交流会を交互に開催していま
 す。二〇二六年度は大分市で懇親会を
 開催する予定です。余興としてマンド



リンとギター演奏を予定しています。
 今後は毎年大分市で総会と懇親会を開
 催していくことになりました。多くの
 会員の参加をお願いします。

※近畿支部と竹原支部については、活
 動状況のご報告がありませんので、
 掲載しておりません。

